

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL : 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

中国、ニードルコークスの市場近況

5月16日から5月20日、中国ニードルコークス（以下、「NC」）の市場価格は小幅に上昇した。5月20日時点の価格は下記の通りである。

● 中国国産 NC 価格（1元=19.1円で換算）

- 石炭系 NC は 12,500~14,000 元/トン（23.9~26.7 万円/トン）
- 石油系 NC は 13,800~15,500 元/トン（26.4~29.6 万円/トン）
- 石油系生コークスは 9,500~11,500（18.1~22.0 万円/トン）

● 輸入 NC 価格（1ドル=127.4円で換算）

- 日本の石炭系 NC は 1,900~2,000 ドル/トン（24.2~25.5 万円/トン）
- 韓国の石炭系 NC は 1,850~1,950 ドル/トン（23.6~24.8 万円/トン）
- 英国の石油系 NC は 2,200~2,400 ドル/トン（28.0~30.6 万円/トン）
- 日本の石油系 NC は 2,800~3,200 ドル/トン（35.7~40.8 万円/トン）
- 負極用コークスは 1,200~1,600 ドル/トン（15.3~20.4 万円/トン）

5月の輸出用石油系 NC は 10%値上がりして 2,300~2,400 ドル/トン（29.3~30.6 万円/トン）となった。山東省の大手企業は生コークス価格を約 12,000 元/トン（22.9 万円/トン）に、良質な煅焼コークスを 17,000 元/トン（32.5 万円/トン）に引き上げた。また、東北地区の低硫黄分石油コークス価格は 9,000 元/トン（17.2 万円/トン）の大台を超えた。

NC の原料を見ると、同週の石炭ピッチの市場価格は 6,300~6,500 元/トン（12.0~12.4 万円/トン）の高値で推移し、含浸ピッチ価格は 6,700~6,900 元/トン（12.8~13.2 万円/トン）だった。石炭ピッチ企業の設備稼働率は依然として 55~60%を維持し、市場需給が逼迫しているため価格は短期的に上昇傾向にある。石炭系 NC の原料であるコールタールの市場価格は、先週とほぼ同額の 5,300~5,500 元/トン（10.1~10.5 万円/トン）で、引き続き石油系 NC 原料のオイルスラリーが値上がりした。

下流市場では、同週の黒鉛電極市場価格は安定的に推移した。5月20日時点で、UHP450mm 規格黒鉛電極（NC 含有量が 30%）の価格は約 26,000~27,000 元/トン（49.7~51.6 万円/トン）、UHP600mm 規格はおよそ 29,000~30,000 元/トン（55.4~57.3 万円/トン）、UHP700mm 規格は 34,000~35,000 元/トン（64.9~66.9 万円/トン）だった。また、HP 黒鉛電極と UHP 黒鉛電極の価格差が縮まった。

黒鉛電極企業は NC と石油コークス価格の上昇が継続していることや黒鉛化加工の生産能力不足のため高コストの課題を抱えている。新型コロナウイルス感染拡大の終息に伴って関連企業の生産再開が相次ぎ、黒鉛電極の需要が増え、NC 市場は好調になると見込まれている。

情報源：ICC 資訊より整理、作成。